

平成27年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成27年4月
山口県教育委員会

目 次

ページ

○ 平成27年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科	
国語	2～3
社会	4～5
数学	6～7
理科	8～9
英語	10～11

平成27年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

平成27年度の学力検査の出題については、中学校教育の発展と充実に資するよう、学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、平素の学習の成果がよく表れていた。
- 資料や表・グラフ等から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を更に身に付けていくことが大切である。

国語

1 出題の特徴

- 基本的な語句の知識を問う問題に加え、登場人物の考えや表現の特徴を読み取る問題を出題した。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 資料を基にした話し合いの内容を記録した文章を読み、「読書の大切さ」について自身の体験にふれながら作文する問題を出題した。

2 結果の概要

- 漢字の読み書きや古文・漢文を読む上での基礎的・基本的な知識を問う問題については、よくできていた。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題については、いま一步であった。
- 作文については、課題を適切にとらえることができていないものも多く、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例 《問題例①》

—

〈問題文は、まはら三桃「ぼくらの歩幅」から。ここでは省略。〉

- (五) 「先生の思ったとおりであったな」とあるが、どのようなことが思ったとおりであったのか。文章の内容に即して説明しなさい。

【正答例】 たすきを使うことで優斗の体が安定して、二人三脚がうまくいくこと。

【解答の状況】

- 「たすきを使うことで」という、登場人物の会話から読み取ることのできる表現のない解答が多くみられた。

【課題】

文章の展開や登場人物の言動から心情を的確に読み取ること。

《問題例②》

二

〈問題文は、清水真木「感情とは何か」から。ここでは省略。〉

(五) A 次の【説明】が段落Xの内容を表したものとなるように、Aには「疑問」という語を用いて十字以内で答え（中略）なさい。

【正答例】 何の疑問も抱かない

【解答の状況】

- 「疑問を抱かせない」など、空欄の前後の文脈が正しく理解できていない解答が多くみられた。
- 「不都合を感じない」など、「『疑問』という語を用いて」という条件を満たしていない解答がみられた。

【課題】

読み取った内容について、語と語や文と文のつながりに注意しながら、条件に従って適切にまとめること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **文章の展開に即して内容を的確に捉える力の育成**

文章の中心的な部分と付加的な部分、具体的事例や筆者の意見などを読み分けることや、文脈の中における語句の意味を正確に理解し、指示語や言い換えなどに注意しながら文章の内容を的確に捉えることができるようにする。

○ **理解した内容を適切に表現する力の育成**

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、言語だけでなく、図表や絵などを含めた様々な情報を活用して、目的や場面に応じた適切な言葉で自分の考えを表現できるようにする。

○ **語彙を豊かにし、思考力を養う活動の充実**

読書の幅を広げることで語彙を豊かにするとともに、古典を含む様々な文章を読み比べて、構成や表現の仕方について考えたり、自分の意見をまとめたりしながら思考力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 身の回りの社会的事象に関心をもって学習を進め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しているかをみる問題を出題した。
- 作業的・体験的な学習の場を設定し、学習した内容と資料を関連付けて考察し判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題を出題した。
- 様々な資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、おおむね良好であったが、一部に課題もみられた。
- 学習した内容と資料を関連付けて考察し判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題については、おおむね良好であったが、一部に課題もみられた。
- 資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題については、いま一歩であったが、学習の成果がみられた。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

- 5 (3) 下線部①の人物(源頼朝)が、源平の争乱に勝利したのち、国ごとに置いた国内の軍事・警察、御家人の指揮を行う役職を何というか。答えなさい。

【正答】 守護

【解答の状況】

- 地頭、国司、征夷大將軍、執権、老中などの誤答が多くみられた。

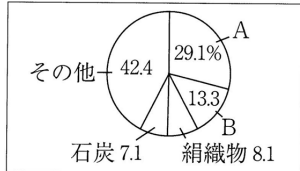
【課題】

時代の特色を理解する上で必要となる基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。

《問題例②》

- 3 (4) 図 I は、1899年における日本の輸出総額に占める品目別の割合を示しており、<メモ>は、図 I 中の A と B の品目について説明したものである。これらを見て、A と B にあてはまる品目を、下の 1～4 からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

図 I



(日本貿易精覧により作成)

<メモ>

- ・ 政府は1872年に富岡に官営模範工場をつくり、欧米の技術を導入してAの増産と品質向上につとめてきた。
- ・ Bは、1890年代には生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には外国に輸出されるようになった。

- 1 綿糸 2 機械類 3 綿織物 4 生糸

【正答】 A (4) B (1)

【解答の状況】

- Bを2の機械類や3の綿織物とする誤答が多くみられた。

【課題】

学習した内容と様々な資料を関連付けて、社会的事象を多面的・多角的に考察し判断すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識や概念の確実な習得**

時事的な話題や身近な生活体験などを通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念が確実に身に付くようにする。

○ **様々な資料を活用して多面的・多角的に考察し判断する力の育成**

地図、年表、写真、新聞、統計などの資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて考察し、公正に判断する力を育成する。

○ **作業的・体験的な学習活動を通して適切に表現する能力と態度の育成**

観察や調査を実施し、その過程と結果を報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、考察し判断したことを適切に表現する能力と態度を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 事象の中に数量や図形の関係を見だし、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。
- 図やグラフの中から情報を読み取り、事象を数学的に解釈して解決する問題を出題した。
- 身近にあるものを題材として、数学的に考察し処理する中で、様々な領域の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、よくできていた。
- 見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて説明する問題については、いま一步であった。
- 論理的に考えたり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、無答が多く、いま一步であった。

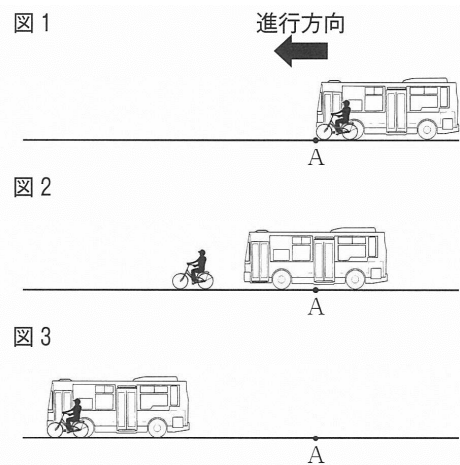
3 課題がみられた問題例

《問題例①》

4 (略)

(2) 図1のように、このバスが地点Aを出発すると同時に、バスの進行方向と同じ方向に、一定の速さで走っている自転車が地点Aを通過し、図2のように、バスを追い抜いた。

このバスが地点Aを出発してから6秒後に、図3のように、自転車に追いついたとすると、自転車の速さは毎秒何mか。求めなさい。



【正答】 毎秒 3 m

【解答の状況】

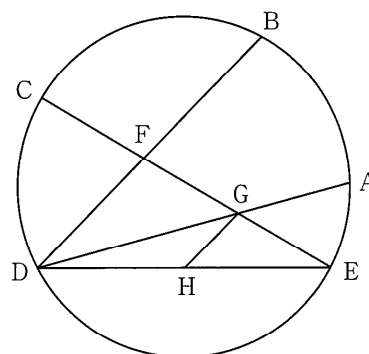
- バスと自転車の動きを関数として適切に捉えることができなかつたため、誤答や無答が多くみられた。

【課題】

一次関数や関数 $y = ax^2$ を用いて事象を捉え考察すること。

《問題例②》

- 8 右の図のように、円周上に5点A, B, C, D, Eがあり、 $\widehat{AB} = \widehat{CD}$ である。また、線分CEと線分BDの交点をF、線分CEと線分ADの交点をGとし、線分DE上に、 $BD \parallel GH$ となる点Hをとる。
- (2) $EG = GF$, $GH = 3 \text{ cm}$ のとき、線分EGの長さを求めなさい。



【考え方】

- ① $\triangle EGH \sim \triangle EFD$ を確認する。
- ② $EG : EF = HG : DF$ より $DF = 6 \text{ cm}$ を求める。
- ③ $\triangle EGH \sim \triangle DFG$ を確認する。
- ④ $EG = GF = x \text{ cm}$ において、 $EG : DF = HG : GF$ より x の値を求める。

【正答】 $3\sqrt{2} \text{ cm}$

【解答の状況】

- $EG = GF$ の条件をどのように活用するか、また、どの三角形が相似であることを活用するかなどの解決の糸口を見付けることができず、無答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識・技能の定着**

第3学年で関数 $y = ax^2$ を学習する際に、第1学年で学習した比例、反比例や第2学年で学習した一次関数を取り上げ、それらを比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に再度取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図る。

○ **言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力の育成**

根拠を明らかにし筋道を立てて説明し伝え合う活動を取り入れながら、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力を育成する。

○ **事象を数学的に表現する力の育成**

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの意義を実感できるようにするとともに、数学的に表現する力を育成する。

理 科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 観察、実験を目的意識をもって行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的にとらえ、合理的に判断し、筋道を立てて考察できるかをみる問題、理科において学習した様々な分野の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題や観察、実験の技能を問う問題については、よくできていた。
- 観察、実験で得られた結果を基に考察し判断する問題については、いま一步であった。
- 観察、実験の目的や操作の理由を説明する問題については、十分ではなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

8

[実験 2]

① 図 2 のように、水平な台の上で、コイルを固定し、磁石をとりつけた台車を置いた。

② 電源装置、電流計、コイル、抵抗を直列につないだ。電流を流すと、台車は図 2 の矢印の向きに動いた。

図 2

(2) 実験 2 の②について、次のア、イに答えなさい。

イ 台車を矢印の向きに動かすためには、図 2 に示されている磁石の上側になる極と、コイルに電流が流れる向きの組み合わせとして正しいものはどれか。次の 1～4 から 2 つ選び、記号で答えなさい。

	1	2	3	4
上側になる極	N極	S極	S極	N極
コイルに電流が流れる向き	e→f→g→h	e→f→g→h	h→g→f→e	h→g→f→e

【正答】 1 と 3

【解答の状況】

- 磁界の中を流れる電流が磁界から受ける力の向きと台車が動く向きが同じであると考え、2 と 4 を選択する解答が多くみられた。

【課題】

作用と反作用の関係など力の働きについては、日常生活や実社会における現象と関連付け、実感を伴った理解をすること。

《問題例②》

9

(3)

[実験計画]

- ① 水を入れたビーカーに、落ち葉の下から採取した土を入れ、よくかき混ぜたあと、しばらく置き、**図2**のように、土の中の微生物を含んでいる上ずみ液ができるまで待つ。
- ② **図3**のように、試験管に0.1%デンプン溶液と、①の上ずみ液を入れ、アルミニウムはくでふたをする。

図2

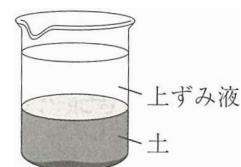
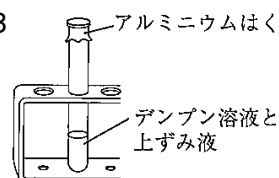


図3



イ デンプンが微生物のはたらきによって分解されることを確かめるためには、[実験計画]の②において、試験管をもう1本用意し、対照実験を行う必要がある。対照実験に用いる試験管に入れるものは何か。2つ書きなさい。

【正答例】 デンプン溶液と煮沸した上ずみ液

【解答の状況】

- 対照実験で用いる試験管に、デンプン溶液を入れていない解答が多くみられた。

【課題】

観察、実験などの探究的な活動においては、その目的を考えて計画すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視

自然の事物・現象の中に問題を見だし、課題解決のために自ら観察、実験の計画を立て、条件設定を行うなど、目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈する能力と態度を育成する。

○ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然現象、身の回りの生活用品、科学技術等を授業で取り上げ、理科の学習と日常生活や社会とを関連付けながら、学習を通して得られた知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。

○ 科学的に考察し表現する能力と態度の育成

仮説を立てて観察、実験を行い、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、科学的に考察し表現する能力と態度を育成する。

英 語

1 出題の特徴

- リスニングテストでは、基礎的な事柄を扱い、「聞くこと」のほかに「話すこと」や「書くこと」を結び付けた、実際のコミュニケーションに近い能力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語などを読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確にとらえる力をみる問題を出題した。
- 理解した内容について英語で発信する力をみるため、記号以外は英語による解答を求めることとした。

2 結果の概要

- リスニングテストでは、基礎的・基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題は、よくできていた。少し長めの対話を聞き、概要や要点を捉えて書く力をみる問題は、いま一歩であった。
- 相手に伝えたい内容を英語で書く問題については、無答が多く、いま一歩であった。
- 物語文を読んで、英語の問いに対して適切な英語の選択肢を選ぶ問題については、おおむねできていた。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 テスト3

〈問題文は一部省略〉

下の【メモ】は、Naoki が自宅の留守番電話のメッセージを聞きながら書いたものである。そのメッセージを聞いて、(A)、(B)にはメッセージの中で用いられた英語1語を、下線部(C)には適切な2語以上の英語を、下線部(D)には適切な数字を書きなさい。

【メモ】

・ I have to _____ (C) _____ this evening.

【正答例】 call David

【解答の状況】

- 対話の中で使われていた call me をそのまま使った解答が多くみられた。
- 情報を正確に聞き取れていない解答や無答が多くみられた。

【課題】

自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。聞き取った内容を状況に適した表現で言い換えること。

《問題例②》

5

〈問題文は一部省略〉

Takeru は、【連絡黒板】に書かれた明日の予定を見ながら Chris にその内容を伝えている。下線部(3)には3語以上の英語を書きなさい。

【連絡黒板】

放課後 公園清掃のボランティア活動

【対話】

Chris: By the way, what will we do at 4 p.m?

Takeru: Volunteer work. Students are _____ (3) _____ the park near our school.

【正答例】 going to clean

【解答の状況】

- 未来の予定を be going to を用いて表すことができず、無答が多くみられた。
- 直訳すると英語になりにくい「公園清掃のボランティア活動」を二文で表現する工夫をすることを踏まえず、volunteer を再度用いた解答が多くみられた。

【課題】

伝えたい情報を自分の知っている語彙等を活用して適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な事項の確実な定着

基礎的・基本的な語彙や英文を学習する際に、単に暗記するのではなく、「聞く」「話す」「読む」「書く」という言語活動を適宜組み合わせるなどして、使い方を理解する経験を積み重ねることで、確実な定着を図る。

○ 文脈に即して内容を読み取る力の育成

一語一語の意味の確認、一文一文の解釈などの断片的な学習にとどまらないように、内容を日本語や英語でまとめるなどの活動を取り入れ、本文の概要や要点、筆者の心情などを文脈に即して読み取る力が身に付くようにする。

○ 情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチの原稿を書く」などの自己表現活動の中で、自分の伝えたいことを知っている語彙等を活用し、相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。